

平成30年度木津川ダム総合管理所優良工事表彰式を開催しました。

木津川ダム総合管理所では平成29年度に完成した工事・業務について「平成30年度優良工事・業務表彰式」を執り行いました。

1. 開催日時

・平成30年7月19日(木) 14時00分～14時30分

2. 開催場所

・木津川ダム総合管理所

3. 優良工事表彰 (2件)

工事名:比奈知ダム外予備発電設備整備工事

表彰者:ヤンマーエネルギーシステム株式会社

工事名:比奈知ダム梁廣地区斜面对策工事

表彰者:株式会社テラカド

4. 優良業務表彰 (1件)

業務名:木津川ダム群ダム運用高度化検討業務

表彰者:株式会社 日水コン

5. 優良業務技術者表彰 (1名)

業務名:木津川ダム群ダム運用高度化検討業務

受注者:株式会社 日水コン

表彰者:岡田 敏治様



◆優良工事・業務表彰とは

独立行政法人水資源機構が発注した工事・業務において、以下に該当する受注者を表彰するものです。

○優良工事表彰とは

1. 優良工事表彰

平成29年度に完成した土木工事、機械設備工事、電気設備工事、営繕工事を対象として、その工事が安全に実施され、その内容、配置技術者等が特に優秀で工事成績の評価点が高く、かつ、水資源機構事業のイメージアップに寄与、厳しい工事環境の克服、技術開発等の水資源機構事業への協力等が顕著であったと判断される工事を表彰します。

2. 安全管理優良表彰

労働安全衛生への取り組みが優秀であり、延べ労働時間が3千時間以上5万時間未満無災害で、平成29年度に竣功した工事を表彰します。

なお、優良工事表彰制度は、平成8年度から、安全管理優良表彰制度は、昭和62年度から施行されています。

○優良業務表彰とは

1. 優良業務表彰

独立行政法人水資源機構が発注した業務において、以下に該当する受注者を表彰するものです。平成29年度に完成した測量、調査、設計業務、現場技術等業務を対象として、その成果が特に優秀で業務成績の評価点が高く、かつ、技術的に高度で複雑なものや、新規技術の導入や斬新な提案等の創意工夫を行ったもの、現場状況を把握し成果に反映したものなど、業務の取り組みが優れていたものを表彰します。

なお、優良業務表彰制度は、平成12年度から施行されています。

【平成30年度木津川ダム総合管理所優良工事・業務表彰】

1. 優良工事の表彰工事及び受注者(表彰工事件数 2件)

工 事 名	比奈知ダム外予備発電設備整備工事
受 注 者 名	ヤンマーエネルギーシステム株式会社
関係事業所等	比奈知ダム、室生ダム
工 事 概 要	○本工事は、比奈知ダム管理所及び室生ダム管理所の予備発電設備の整備を行うものです。
推 薦 理 由	○台風の接近予測に伴い、燃料配管(初瀬取水)を前倒し完了させると共に、自主的に燃料補給を行い危機管理に取り組んだこと。 ○工場整備において不可視部分となる機器の分解整備状況について、手順を追って写真を整理し、分かり易くまとめられたこと。 ○施工場所(比奈知ダム)における地域の清掃活動(名張市530環境美化行動)に積極的に参加したこと。

工 事 名	比奈知ダム梁廣地区斜面对策工事
受 注 者 名	株式会社テラカド
関係事業所等	比奈知ダム
工 事 概 要	○比奈知ダム貯水池斜面(梁廣地区)における法面工事を行うものです。
推 薦 理 由	○現場の整理整頓に努め、台風時も事前準備を含め現場対応を適切に実施したこと。また、書面も漏れなく迅速に対応し、監督員との連絡調整を密に行うなど確実な施工管理を行ったこと。 ○施工期間中に二度の台風に見舞われ仮設工の再設置等を行ったが、適切な工程管理により、工期延期することなく計画通り工事を完成させたこと。 ○出来形管理は社内規格値により厳密に管理し、測定値も社内規格値を満足していたこと。また、出来形管理図表も適切且つ分かり易く纏められていたこと。

2. 優良業務表彰の表彰業務及び受注者(表彰業務件数 1件)

業 務 名	木津川ダム群ダム運用高度化検討業務
受 注 者 名	株式会社 日水コン
関係事業所等	木津川ダム総合管理所(高山・青蓮寺・室生・布目・比奈知 の各ダム)
業 務 概 要	○ダム管理の高度化を目的とし、木津川ダム総合管理所管内の高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム及び比奈知ダムで実施しているダム下流及び淀川流域の浸水被害軽減のための統合操作(特別防災操作)について、既往の操作実績と課題を整理し、他ダムでの運用高度化に参考となる技術的事項のとりまとめを行うものです。
推 薦 理 由	○本業務の実施にあたり、木津川ダム総管管内5ダムにおける統合操作(特別防災操作)の一般化に向けた実操作の整理と体系化の検討というマニュアルや一般的な検討手法等の無い業務であったが、受注者からのとりまとめの体系化の考え方の提案など積極的な取り組みにより、良い成果が得られたこと。 ○技術的事項の検討成果は、機構のダム運用における高度化の検討において参考となる良い成果であったこと。

※上記業務の管理技術者(岡田敏治様)は優良業務技術者表彰も受賞しています。